

対象とする降雨(想定最大規模降雨)について

■想定最大規模降雨とは

過去の大雨の降雨量データ(昭和30年代前半以降の降雨を対象)をもとに、地域ごとの最大降雨量を参考に算出した雨量を採用しています。1000年に1回程度の確率で発生するとされる降雨です。

浸水の種類	洪水（外水浸水）	雨水出水(内水浸水)
現象	大雨により、河川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れたりして発生する氾濫。	大雨により、雨水が街中であふれ出した時に発生する氾濫。
対象とする降雨	広範囲に長時間降る大雨 (台風や線状降水帯など)	局地的に短時間で激しく降る雨 (ゲリラ豪雨など)
対象とする降雨量	24時間雨量約1000mm(1000年に1回程度) ※降った雨が河川に集まる時間を考量して 24時間の降雨量を採用	1時間雨量 147mm(1000年に1回程度)